

●休診日／金・土・日曜日、祝日
▼年末年始（12月29日～1月3日）
問 神代診療所 ☎44-2118

曜日	診療時間	医師
月曜日	9:00～11:30	吉岡 政人 先生 （秋田大学医学部附属病院） ※小学生以下のお子様の診療・予防接種は できません。
火曜日	9:00～11:30	中川 康彦 先生 （秋田大学医学部附属病院）
水曜日	9:00～11:30 13:30～16:30	嘉陽 毅 先生
木曜日	9:00～11:30 13:30～16:30	田口 大樹 先生 （秋田大学医学部附属病院）

4月1日からの神代診療所の日程は次の表のとおりです。なお、秋田大学医学部附属病院の医師については、変更になる場合もあります。

令和7年度神代診療所診察日程



公認心理師・臨床心理士があなたの相談を親身に受け止めます！
こころの相談
病気や健康、家族問題、からだやこころの悩み、人間関係、仕事や生活の不安、子育て、近隣関係など、ひとりで悩まないで声を出してみませんか。
●場所・日時／
▼角館庁舎／4月3日(木)・18日(金)（午前のみ）・28日(月)
●相談時間／【午前】10時～11時／【午後】13時30分～14時30分
●相談方法／1回50分。面談または電話（要予約・相談無料※秘密厳守）
問 保健課 ☎43-2252

保健のお知らせ

この度、田沢湖歯科診療所長の赤間正欣歯科医師が3月末日をもって退職することとなりました。急なお知らせとなり、田沢湖歯科診療所をご利用の皆さまにはご迷惑をおかけしますこと、お詫び申し上げます。なお、4月1日より岩手医科大学の坂岡丈利歯科医師が新たに着任し、4月中旬より診療開始の予定です。患者さまにはご不便をおかけしますが、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。
問 田沢湖歯科診療所 ☎43-1388



田沢湖歯科診療所からのお知らせ

笑いヨガで、心も・体も・脳も健康に笑いの会
笑うことは心身ともに安定し、ストレス軽減に効果があると言われています。皆さまぜひご参加ください。
●日時／4月18日(金)受付9時40分～10時11時30分終了
●場所／健康管理センター（角館）
●内容／笑いヨガ
●参加料／無料※事前申込不要
問 保健課 ☎43-2252

だれかに話をすると安心する傾聴ボランティア「えくほの会」
心にたまったことや、気になると、心配なことなどを話してみませんか。傾聴ボランティア「えくほの会」では、ゆっくりお茶を飲みながら、会員が悩みなどをお伺いして、一緒に考えていきます。開催時間内の都合のよいときにお気軽にお越しください。
●日時／4月16日(水)10時～14時
●参加料／無料
●場所／角館交流センター
問 保健課 ☎43-2252



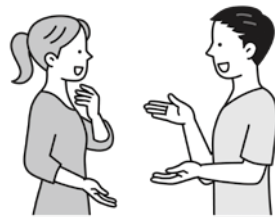
保護者の疾病、仕事その他の事由により、家庭における子どもの養育が一時的に困難となった場合などに18歳未満の子どもの児童福祉施設などにおいて一定期間養育・保護する事業です。仙北市では、児童養護施設など3施設（横手市1、秋田市2）と契約しています。施設の空き状況や感染症などの状況によっては希望期間に利用できない場合もありますので、利用希望の際は早めにこども家庭センターにご相談ください。利用料については、子どもの年齢、世帯の課税状況によって異なりますので、詳細については相談時に説明します。
申請から利用決定までに時間がかかる場合もありますので、余裕を持って申請するようにしてください。
問 こども家庭センター ☎43-3305



子育て短期支援（ショートステイ）事業

傾聴ボランティア・集いの場かだれ！
今、私たちが取り組んでいるのは、集まった人たちでお互いの「不安確認や困ったときに、駆け付けられる体制づくり」を進めています。「かだれ！」は、皆さんのお越しをこころからお待ちしています！
●日時／4月9日(水)・23日(水)10時～15時
●場所／田沢湖健康増進センター（田沢湖病院併設）調理室・栄養相談室
●参加料／100円（昼食は各自でご持参ください）
●内容／保健師による血圧測定、健康相談、認知症予防体操、ゲームなど
●相談／心理カウンセラー（相談無料／秘密厳守）
問 小松 ☎090-2975-3450

語って、笑って、ホッと息えがおサロン
※令和7年度、えがおサロンは休止します。



「しつけの仕方が分からない」「子どものことでイライラしてしまう」「言うことを聞かないので、つい叩いてしまった」など、子育ては親や家族の思うようにいかないことが多いものです。こども家庭センターでは、親子関係を良好にし、育児を楽しみと感じられるよう、子どもへの対応の仕方についてペアレントトレーニングの講座を開催しています。個別対応の他に集団への講座（こども園での保護者会など）も実施しています。PTAでの勉強会や、子どもに関わる仕事をされている方、ペアレントトレーニングに興味のある方など、受講要請があれば、仙北市内どこでも伺います。講座受講希望の個人・団体の方、保護者の仲間同士で受講希望の方も、お気軽にこども家庭センターまでご連絡ください。
問 こども家庭センター ☎43-3305



親子関係支援事業（通称：ペアトレ）

若者同士で交流しましょう若者の居場所
辛い、苦しい、不安、眠れない、家においても居心地が悪い、社会の中で生きづらいと感じているすべての若者が対象です。一緒にお茶を飲んだりおやつを食べたり、ちょっとしたゲームをしながらか若者同士で交流しましょう。ぜひ、ひとりで抱え込まずに、まずは足を運んでください。お待ちしております。
●日時／4月15日(火)14時～16時
●場所／角館交流センター（和室）
●参加料／無料※事前申込不要
●主催／NPO法人KOU（あきた若者サポートステーション運営団体）
問 大屋みはる ☎018-853-4367

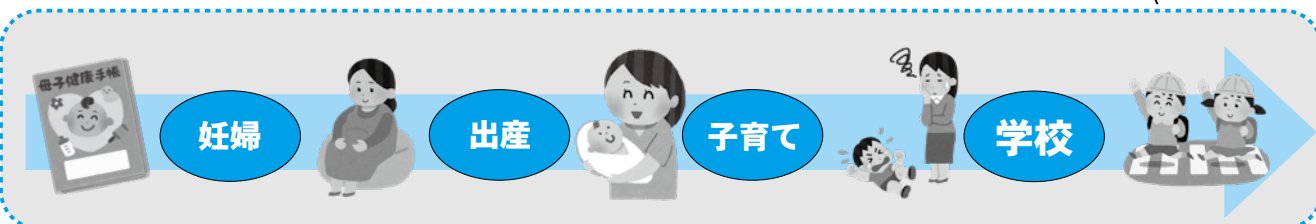


こども

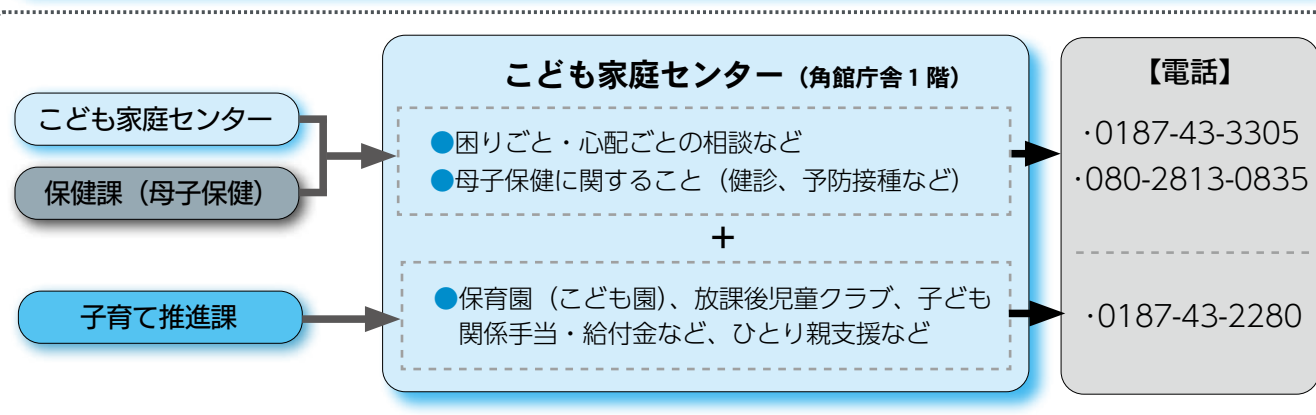
家庭センターからおしらせ

こども家庭センターは、児童福祉と母子保健の機能を統合し、連携を深め、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ、切れ目なく支援をしていくための相談窓口です。

切れ目のない支援！



令和7年度は市役所の組織のスリム化を主とした組織再編を行い、子育て推進課を廃止して機能をこども家庭センターに移行しました。
また、母子保健機能を保健課から移行することにより、子育て支援や母子保健、家庭援護などの市全体の児童福祉に関する施策を、関係機関と連携しながら一体的・効率的に行っていきます。
こども家庭センターの事業などについては、ホームページやSNS、広報の子育てインフォメーションなどにおいてお知らせしていきます。



にしき園だより —第44号—



にしき園は、高齢や病気で身体機能の衰えた方に日常的な医療やリハビリなどを行い、生活機能の維持向上・在宅復帰をめざす施設です



「BCP」について

皆さまは「BCP」という言葉をご存じでしょうか。BCPとは、業務継続計画と訳されています。感染症や大きな地震などの災害発生時には、通常の業務を実施することが困難になる事が想定されますが、業務を中断させないよう準備するとともに、中断した場合でも必要な業務を実施するために体制や手順を示した計画のことです。

にしき園においても、令和6年度の介護報酬改定を機に策定されました。災害が発生しない事が理想ですが、発生の際は「重要な業務を中断させない」ために、BCPに基づいて火災や災害などを想定した訓練を行っています。

問 にしき園 ☎0187-47-3211

面会についてのお願いです。感染予防のため、ガラス越しでハンディインターホンを使用しての面会になりますのでよろしくお願い致します。利用者様おひとりずつの対応となりますので、ご予約をいただけますとスムーズです。

	平均 利用者数	平均 介護度
1月	91.6人	2.62
2月	87.5人	2.55

保健と健康掲示板

ささえる
つながる

令和7年度

予防接種のおしらせ

高齢者の肺炎球菌

●対象者／

- (1) 満65歳の方
- (2) 60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能または免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方（身体障害者手帳の写しなどを接種医療機関にお持ちください）

※過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、今回の助成金を受けることができません。

※(1)の対象の方には誕生月の翌月に、お知らせと予診票を送付しますので、接種の際は必ず医療機関へご持参ください。(2)の対象の方は保健課窓口で申請をお願いします。

●助成額／▶3,000円（接種医療機関に3,000円を差し引いた額の接種費用をお支払いください）▶生活保護の方は全額助成

●接種方法／接種を希望される方は、医療機関に予約してください。

●問合せ／保健課 ☎43-2252

大人の風しん

●対象者／

- (1) 風しん抗体価の低い妊娠を希望する女性
- (2) 風しん抗体価の低い妊婦のパートナー

●助成額／接種費用の全額

●接種方法／こども家庭センター窓口で申請し、医療機関に予約してください。

申請時に必要な持ち物がありますので、詳しくは市のホームページをご確認ください。

●問合せ／こども家庭センター ☎43-3305

おたふくかぜ

●対象者／満1歳から小学校就学前の方

●接種回数／2回

●助成額／▶1回4,000円（接種医療機関に4,000円を差し引いた額の接種費用をお支払いください）▶生活保護の方、非課税世帯の方は全額助成

●接種方法／こども家庭センター窓口で申請し、医療機関に予約してください。

●問合せ／こども家庭センター ☎43-3305

带状疱疹（任意予防接種）

仙北市では、令和7年度からの带状疱疹定期予防接種の開始に伴い、任意予防接種への助成を令和7年12月31日をもって終了させていただくことになりました。任意予防接種を希望する方は、接種期間などを考慮し、早めの接種をお願いします。

●対象者／満50歳以上の方（定期予防接種対象者を除く）

●助成期間／4月1日から12月31日まで

●助成額／▶生ワクチン1回5,000円▶不活化ワクチン1回10,000円×2回（接種医療機関に助成金額を差し引いた額の接種費用をお支払いください）

●接種回数／▶生ワクチン1回▶不活化ワクチン2回

●接種方法／医療機関に予約をし、ワクチンの種類を決め、保健課窓口で申請してください。

●問合せ／保健課 ☎43-2252

带状疱疹の定期予防接種が始まります

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水痘が出現する病気です。

●対象者／

- (1) 年度内に65歳を迎えた方
- (2) 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり日常生活がほとんど不可能な方
- (3) 令和7年度から令和11年度までの5年間を経過措置として、その年度内に70・75・80・85・90・95・100歳（※）となる方が対象となります。

※100歳以上の方については、令和7年度に限り全員対象となります。

●助成金額／▶生ワクチン1回5,000円▶不活化ワクチン1回10,000円×2回（接種医療機関に助成金額を差し引いた額の接種費用をお支払いください）

●助成回数／▶生ワクチン1回▶不活化ワクチン2回

●接種方法／(1)、(3)の対象の方には4月上旬にお知らせと予診票を送付しますので、ご自身で医療機関に予約していただき、接種を受けてください。

また、接種の際は必ず予診票を医療機関へご持参ください。(2)の対象の方は保健課窓口で申請をお願いします。

※過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがある方は、今回の助成金を受けることができません（医師が必要とした場合を除く）。

※県外の医療機関を希望される方は接種前に保健課までご連絡ください。

●問合せ／保健課 ☎43-2252